環境経営レポート

（対象期間:2022 年 6 月～2023 年 5 月）

丸順商事有限会社

発行日:2023 年 7 月 12 日

1. 組織の概要

名称及び代表者名

丸順商事有限会社

代表取締役　矢部　要

所在地

本社事業所：東京都羽村市富士見平 2-1-19

瑞穂車庫　：東京都西多摩郡瑞穂町箱根ヶ崎 1307-4

環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者：取締役　栗原　津巳　　E-mail: t-kurihara@marujun-shoji.co.jp

担当者：取締役　木下　妙子　　E-mail: k-taeko@marujun-shoji.co.jp

連絡先：042-554-2229（TEL）

042-554-7889（FAX）

事業内容

1）一般廃棄物・産業廃棄物及び特定家庭用機器廃棄物の収集運搬業務

2）一般廃棄物中間処理業（ふとん類）・浄化槽清掃業

事業の規模

・一般廃棄物収集運搬

許可範囲	許可番号	許可年月日	有効期限
羽村市	1 号	令和 4 年 4 月 1 日	令和 6 年 3 月 31 日
青梅市	25 号	令和 4 年 4 月 1 日	令和 6 年 3 月 31 日
福生市	307 号	令和 3 年 9 月 16 日	令和 5 年 9 月 15 日
瑞穂町	11-17 号	令和 4 年 3 月 15 日	令和 6 年 3 月 14 日
昭島市	155 号	令和 4 年 4 月 1 日	令和 6 年 3 月 31 日
武蔵村山市	13 号	令和 4 年 1 月 20 日	令和 6 年 1 月 19 日
入間市	31 号	令和 4 年 4 月 1 日	令和 6 年 3 月 31 日

・一般廃棄物処分業（中間処理）

許可範囲・品目	許可番号	許可年月日	有効期限
羽村市（ふとん類）	2 号	令和 4 年 4 月 1 日	令和 6 年 3 月 31 日

・浄化槽清掃業（収集・運搬）

許可範囲	許可番号	許可年月日	有効期限
羽村市	1 号	令和 4 年 4 月 1 日	令和 6 年 3 月 31 日

・産業廃棄物収集運搬

許可範囲	許可番号・許可年月日・有効年月日	許可品目
東京都	第 13-10-032171 号 令和 2 年 8 月 4 日 有効：令和 7 年 8 月 3 日	燃え殻、汚泥、廃油、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、金属くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、がれき類（以上 11 種類）
神奈川県	第 01406032171 号 平成 30 年 11 月 28 日 有効：令和 5 年 9 月 10 日	燃え殻、汚泥、廃油、廃プラスチック類、紙くず、木くず、動植物性残さ、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず、がれき類（以上 10 種類）
埼玉県	第 01102032171 号 令和 2 年 11 月 13 日 有効：令和 7 年 11 月 8 日	燃え殻、汚泥、廃油、廃プラスチック類、紙くず、木くず、動植物性残さ、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類（以上 10 種類）
山梨県	第 01900032171 号 令和 4 年 7 月 3 日 有効：令和 9 年 7 月 2 日	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類（以上 7 種類）

・収集運搬車両及び営業車両

形式	積載重量	燃料	保有台数
塵芥車	3 t	ディーゼル	7 台
ダンプ車	2 t	ディーゼル	1 台
平ボデー車 (ｷｬﾌﾞｵｰﾊﾞｰ)	4 t	ディーゼル	1 台
	3 t	ディーゼル	1 台
	2 t	ディーゼル	2 台
	0.35 t	ガソリン	1 台
バン	2 t	ディーゼル	3 台
脱着装置付コンテナ専用車	4 t	ディーゼル	2 台
	3 t	ディーゼル	2 台
糞尿車	3 t	ディーゼル	1 台
粉粒体運搬車	10 t	ディーゼル	1 台
営業車	--	ガソリン	4 台
合　　計			26 台

・**収集運搬及び処理量　（2022 年 6 月～2023 年 5 月）**

一般廃棄物　：　6,727 t

産業廃棄物　：　3,872 t

浄化槽汚泥　：　564 t

廃家電類　：　1,178 台（テレビ 365 台・冷蔵庫 334 台・洗濯機 297 台・エアコン 182 台）

ふとん類の処理：　2.4 t

・**売上額（2022 年 6 月～2023 年 5 月）**

42,883 万円（税抜き）

・**設立年月日**

昭和 42 年 11 月 1 日

・**資本金**

3,000 万円

・**従 業 員 数**

38 名

・**積替え保管施設**

本社：積替保管面積：498 ㎡　　保管上限量 8.0 ㎥

・**一般廃棄物 中間処分（本社）**

種　　類：ふとん類

処分方法：ふとんを裁断して布と綿に分離する

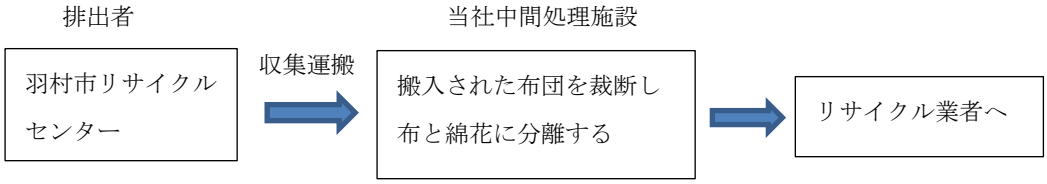
処理能力：0.2 t ／日

・**事業年度**

6 月 1 日～5 月 31 日

・**化学物質の取扱いはありません**

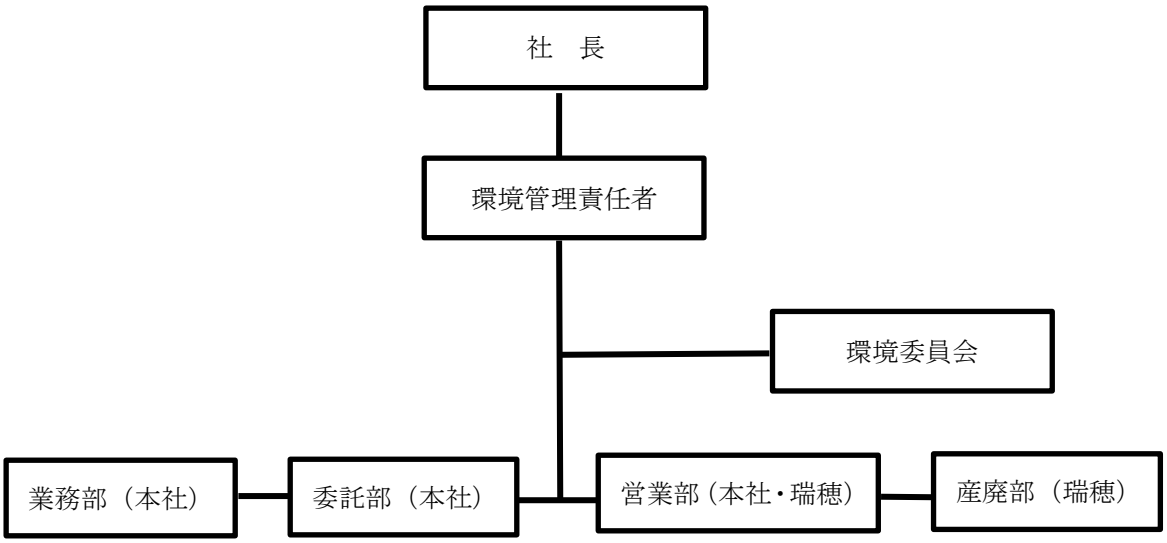
一般廃棄物中間処理（ふとん類）フロー



２．対象範囲

登録組織名　：　丸順商事有限会社
関連事業所　：　瑞穂車庫

丸順商事有限会社 環境システム組織図



役割と権限

代表者（社長）	・環境経営方針を策定する。 ・EA21 の実行に必要な資源（人、物、金）を用意する。 ・環境管理責任者を任命する。 ・EA21 の全体的な取組み状況を評価し、見直し必要な指示を与える。 ・課題とチャンスを明確にする。
環境管理責任者	・環境経営システム要求事項を確立し、実施し、維持することを確実にする ・環境経営システムの構築･運用状況を社長に報告する。
環境委員会	・環境マネジメントに関する全社で検討する場とする。社長を議長とし、毎月開催する。メンバーは社長、環境管理責任者、環境事務局及び各部門長とし、必要に応じて社長及び環境管理責任者が指名したものとする。環境委員会は職長会と兼ねて実施する。
部門長	・各部門の環境目標、活動計画を策定、各部門の環境マネジメントシステムの実行の総括、各部門の固有の役割を持つ。
全従業員	・環境経営目標、活動経営計画の実施。 ・環境に関する責任あるやり方で業務の実施。 ・問題があつた場合、部門責任者へ報告。

３．環境経営方針

｛ 基本理念 ｝

丸順商事有限会社は、廃棄物収集運搬業(一般・産業)・資源物(有価物)収集運搬業を通して、環境・安全を第一に考え、この美しい自然と歴史を次世代へ継承する環境保全活動に取り組み、市民・顧客・社会・そして全社員からの信頼・支持を継続的に維持し続ける企業を目指します。

｛ 行動指針 ｝

１．当社事業の特性を踏まえ、以下の環境活動に重点的に取り組みます。

①電力・収集運搬車の燃料消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
②節水の徹底
③自社廃棄物の減量
④環境に配慮した事務用品、消耗品の購入
⑤地元地域・所属組織等の環境活動への積極的な参加
⑥顧客サービスの向上

上記について環境目標・活動計画を定め、定期的な見直しを実施し、継続的な改善に努めます。

２．環境関連法規制や当社が約束した事を遵守します。

３．この環境方針は全従業員に周知する。

制定日：2013 年 1 月 11 日
改訂日：2020 年 9 月 18 日

丸順商事有限会社

代表取締役 矢部 要

４．環境経営目標と実績

2022 年度の実績

環境経営目標項目	単位	2021年度 実績（基準）	2022年度 目標	2022年度 実績	達成率	判定
電力の使用量削減	（kWh）	18,154	18,063 （0.5%削減）	17,831	101.3%	○
ガソリン使用の削減	（L）	2,474	2,449 （1%削減）	2,293	106.8%	○
軽油1Lあたりの売上増大 注1）	（L）	54,832		52,780	95.5%	△
	（円）	8,344	8,511 （2%UP）	8,125		
灯油使用の削減	（L）	813	805 （1%削減）	738	109.1%	○
総CO_2排出量	（kg-CO_2）	156,964	155,394 （1%削減）	150,706	103.1%	○
水使用量の削減	（㎥）	435	433 （0.5%削減）	412	105.1%	○
自社廃棄物の削減	（kg）	1,412	1,398 （1%削減）	1,396.6	100.1%	○
グリーン購入促進	品目	多品目購入	多品目購入	多品目購入	ー	○
地域活動への 取組、参加	回数	58	59 （1回増）	84	142.4%	◎
新規顧客の拡大	件	33	38 （5件増）	31	81.6%	×
回収漏れ件数の削減	件	48	45 （3件削減）	33	136.4%	◎

＊ 2021年度＝2021年6月～2022年5月

＊判定： ◎=110％以上の達成、 ○＝目標達成　△＝95%以上　×＝95%未満

＊2021年度　東京電力調整後排出係数（0.442kg-CO2/kWh）使用

＊2021年度　中央電力エナジー調整後排出係数（0.476kg-CO2/kWh）使用

＊液化石油ガス（LPG)については少量使用の為、環境目標から除外としています

注1）　軽油削減目標は、売上金額/軽油使用量で算出し、1リットルあたりの金額目標とする

2022 年～2024 年度の目標

環境経営目標項目	単位	2021年度 実績（基準）	2022年度 目標	2023年度 目標	2024年度 目標
電力の使用量削減	（kWh）	18,154	18,063 （0.5%削減）	17,972 （1%削減）	17,882 （1.5%削減）
ガソリン使用の削減	（L）	2,474	2,449 （1%削減）	2,425 （2%削減）	2,400 （3%削減）
軽油1Lあたりの売上増大 注	（L）	54,832			
	（円）	8,344	8,511 （2%UP）	8,594 （3%UP）	8,678 （4%UP）
灯油使用の削減	（L）	813	805 （1%削減）	797 （2%削減）	789 （3%削減）
総CO_2排出量	（kg-CO_2）	156,964	155,394 （1%削減）	154,610 （1.5%削減）	153,825 （2%削減）
水使用量の削減	（㎥）	435	433 （0.5%削減）	431 （1%削減）	428 （1.5%削減）
自社廃棄物の削減	（kg）	1,412	1,398 （1%削減）	1,384 （2%削減）	1,370 （3%削減）
グリーン購入促進	品目	多品目購入	多品目購入	多品目購入	多品目購入
地域活動への 取組、参加	回数	58	59 （1回増）	60 （2回増）	61 （3回増）
新規顧客の拡大	件	33	38 （5件増）	40 （7件増）	43 （10件増）
回収漏れ件数の削減	件	48	45 （3件削減）	38 （10件削減）	36 （12件削減）

＊ 2021年度＝2021年6月～2022年5月

＊ 2021年度　東京電力調整後排出係数（0.442kg-CO2/kWh）使用

＊ 2021年度　中央電力エナジー調整後排出係数（0.476kg-CO2/kWh）使用

＊ 液化石油ガス（LPG)については少量使用の為、環境目標から除外としています

注1）　軽油削減目標は、売上金額/軽油使用量で算出し、1リットルあたりの金額目標とする。

５．環境経営計画の取組結果とその評価

環境目標	具体的行動計画	実施状況	取組結果と評価	次年度の取組計画
電力使用量の削減	エアコン使用時の室温管理を徹底する（冷房28℃以上・暖房20℃以下）	○	事務所については今年度も換気をしながらの営業となりましたが、室温調整は徹底されていました。 エアコンのフィルター清掃も稼働前に実施した。 不在する際の電気消灯は、徹底されてました。 事務所内の遮光対策（よしず・遮光カーテンを設置）も実施されていました。 事務所で使用しているPCも省エネモードにて実施。 クールビスについても5月から10月まで実施（営業、事務員はポロシャツにて仕事をしている） 節電に対する作業者意識は非常に高く持っており今後も同様に徹底して行きたい。	左記の行動計画で引き続き取り組み電力量の削減を目指す
	定期的にエアコンのフィルター清掃実施する	○		
	不在時の消灯と休憩時間消灯の徹底管理を実施	○		
	稼動していない機械電源OFFの徹底	○		
	パソコンOA機器等、省エネモードに切り替え実施	○		
	クールビズの徹底。（5月～10月）	○		
	ブラインドの調整による日射の遮断及び自然光の確保による照明効果の取り入れ実施する	○		
燃料（ｶﾞｿﾘﾝ、軽油）の使用量削減	アイドリングストップ実施する	○	アイドリングストップは全運転者に徹底されています。 全車（営業車を除く）にデジタルタコグラフ、ドライブレコーダーを導入しているため、その解析結果に基づいてドライバーに指導しています。（急発進・急停止など） 今年度は民間企業（特に製造）の景気が悪く少量での運搬が目立ちました。	左記の行動計画で引き続き取り組み燃料の削減を目指す
	急発進、急停止、しない運転を実施する	○		
	不要な荷物は積まない	△		
	適切な配車を行い、無駄な動きを行わない	△		
灯油使用量の削減	室内温度16℃から20℃を目安として、温度管理を実施する	○	冬場は石油ﾌｧﾝﾋｰﾀを使用していますが、今年度も換気を重点的に行ってきました。 従業員の室温管理の意識は高く、事務所内もできる限り日差しを取り入れるよう、心がけていました。 事務員はひざ掛け等を心掛け、ウォームビズは徹底されていました。	左記の行動計画で引き続き取り組み燃料の削減を目指す
	不在時の消火の徹底管理	○		
	ウォームビズの徹底（12月～3月）	○		
水使用量の削減	水漏れの定期確認。（水道水の栓を確認）	○	節水用のホースノズル等の使用を心掛けており無駄な水を使用しない様、徹底されていました。 洗車においては高圧洗浄機を使用して行った。 今年度もコロナの影響で手洗いを重点的に行った事と従業員の増加により、いつも以上に水を使用していた。	左記の行動計画で引き続き取り組み水使用量の削減を目指す
	洗車時の節水（節水シャワーの使用等）	○		
	台所及びトイレ使用に対しての水管理を徹底を実施する	○		

環境目標	具体的行動計画	実施状況	取組結果と評価	次年度の取組計画
自社排出廃棄物の削減	廃棄していた紙類を資源とする	○	紙類の再利用、シュレッター化（事務所）は前期同様、徹底されていました。 事務所は、できる限りﾍﾟｰﾊﾟｰﾚｽ化を心掛けていました。 社内で食べた弁当の食べ残しが増えてしまった。 従業員の増加により、自社の排出廃棄物は若干増加した。	左記の行動計画で引き続き取り組み自社排出廃棄物の削減を目指す
	外出先で発生させたごみ（ｺﾝﾋﾞﾆ等）を社内に持ち込まない	○		
	機密書類はシュレッダーにかける	○		
	ダンボールなど繰り返し再利用する	○		
グリーン購入の促進	エコマーク認定品の購入に努めます	○	事務用品を購入する際には、ｴｺﾏｰｸのついたものを購入しています。	エコマーク認定品の購入に努めます
地域活動への取組・参加	会社周辺清掃を定期的に実施する	○	今年度も、コロナ渦ではありましたが、地域活動が段々と行い始めてきました。 会社周辺清掃には今年も多く実施できました。	地元主催の催し物が4年ぶりに行う予定の為、地域活動の参加は出来る限り行う。 会社周辺清掃についても定期的に実施する
	地元主催の催し物の参加	△		
新規顧客の拡大	現顧客に出向きお知り合いの事業所を紹介して頂き契約に結びつける	△	今年度もコロナの影響により営業活動を自粛させたので思う様に顧客廻りが出来ていませんでした。 但し、会社への問い合わせが多かったので、新規顧客に結び付けた。	左記の行動計画で引き続き取り組み新規顧客の拡大を目指す。現顧客にも次年度は積極的に出向く。
	会社へ問い合わせがあった新規顧客へ訪問し、契約に結びつける	○		
回収漏れ件数の削減	戸別収集時に急がず、1件ずつ確認しながら回収を行う	○	今年度は、2名の目で慌てず、1件ずつ確認するよう全社員が心掛けた。	左記の行動計画で引き続き取り組む。回収漏れの状況を色々な角度から分析し対策をしっかりとる

＊　実施状況の評価基準　：　○＝出来ている　、　△＝ある程度出来ているがもう少し　、　×＝出来ていない

地域活動及び会社周辺清掃状況

1） カーブミラー清掃（2022 年 6 月 4 日実施）

羽村市内に設置されているカーブミラーの清掃を羽村市建設防災協力会主催で実施。
（当社から 1 名参加）

2）羽村市水防訓練（2022 年 6 月 19 日実施）

羽村市主催の水防訓練に羽村市建設防災協力会として参加。
（当社から 1 名参加）

3）羽村市マナーアップキャンペーン　（2019 年 7 月実施）

＊2020 年、2021 年、2022 年度は中止

羽村駅前でタバコ等のポイ捨て禁止キャンペーンを実施。

駅前周辺清掃及びポイ捨て禁止アピール（ティッシュ配り）を行う。

4）羽村市防災訓練（2019 年 9 月実施）

＊2020 年、2021 年、2022 年度は中止

羽村市主催の防災訓練に羽村市建設防災協力会として参加。

倒木撤去、土砂撤去作業の訓練を行う。

5）全国交通安全運動　街頭活動（2022 年 9 月、2023 年 5 月実施）

東京都トラック協会多摩支部第 3 地区主催で街頭活動を実施

9 月は羽村市内道路上、5 月は河辺駅にて安全運転街頭活動を行った。

羽村市産業道路

河辺駅

6）羽村市産業祭（2019 年 11 月 2 日、3 日実施）

＊2020 年、2021 年、2022 年度は中止

塵芥車を展示、市民（特に子供たち）を車両に乗車させ、楽しんでもらう。

また、会社の営業（遺品整理等の廃棄処理）もアピールしています。

会場内においてマナーアップキャンペーン（羽村市主催）も実施する。

7）会社周辺清掃

主に祝日を利用して本社は会社周辺の道路及び近くの公園内のごみ拾い、瑞穂車庫は会社前道路のごみ拾いを実施。

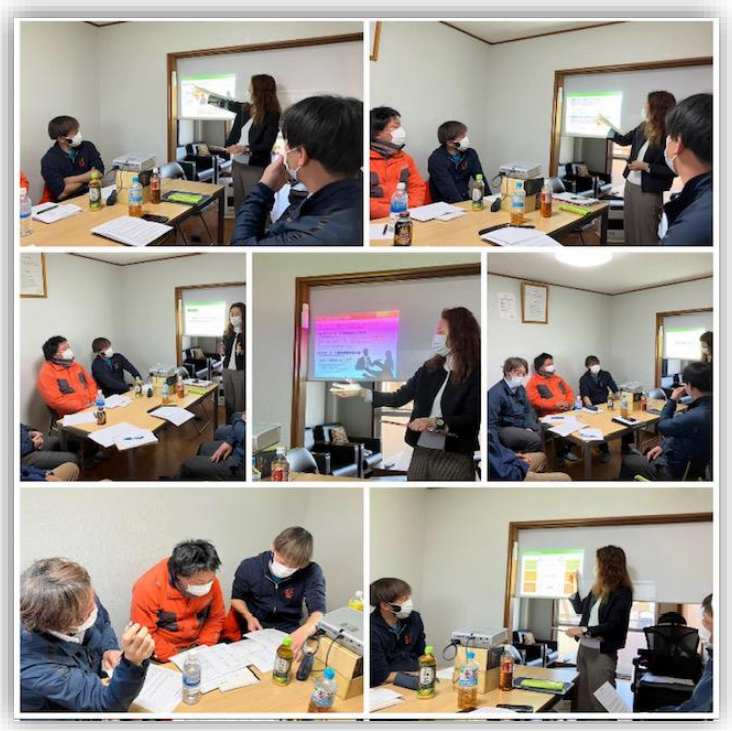
今年度は、エリアを広げて実施した。

本社前付近の道路のごみ拾い（42 回実施）

瑞穂車庫周辺道路のごみ拾い（38 回実施）

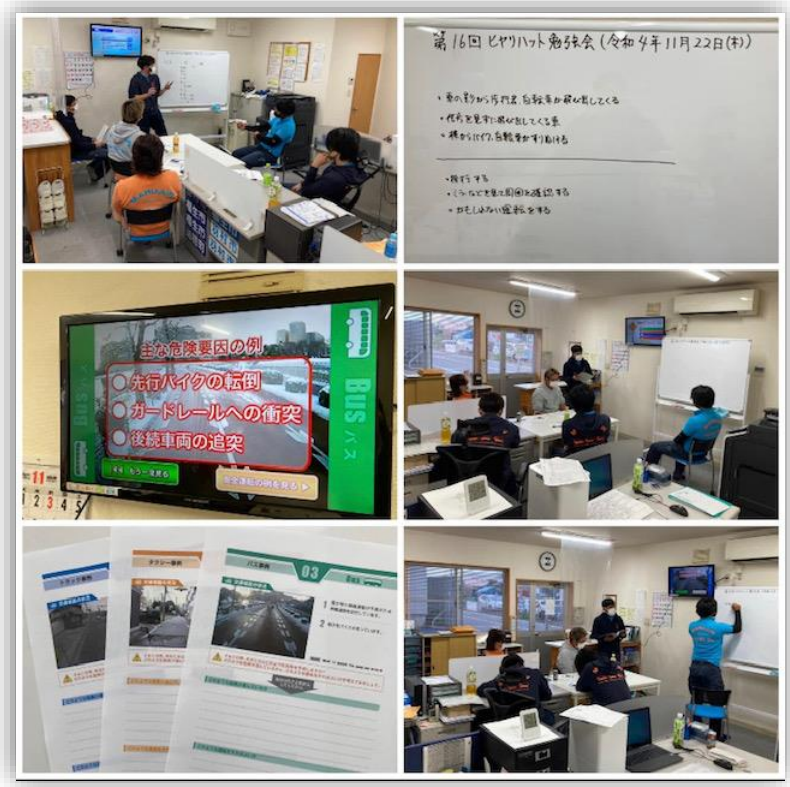
講習会、研修の状況

幹部社員講習会（7 名）【1 回／月】



社員研修会（25 名）【1 回／2 か月】
3 班に分けて実施

ヒヤリハット講習会【1 回／月】



運転者講習会（2022 年 11 月 24 日）

東京都トラック協会多摩支部第 3 地区主催の運転者講習会に参加（当社から 12 名参加）

６．環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

関連法規	適合性
廃掃法施行令	適合
東京都暴力団排除条例	適合
都民の健康と安全を確保する環境に関する条例	適合
消防法施行令	適合
自動車 NOx 法・PM 法	適合
特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）	適合
使用済小型家電機器等の再資源化の促進に関する法	適合
フロン排出抑制法	適合
道路運送車両法	適合
道路交通法	適合
貨物自動車運送事業法	適合
使用済自動車の再資源化等に関する法律	適合
市条例（羽村市・青梅市・福生市・瑞穂町・昭島市・武蔵村山市・入間市）	適合
労働安全衛生法	適合

当事業所に適用される環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、違反はありません。

また、関係当局からの違反等の指摘は過去 3 年間ありません。訴訟についてもありません。

７．代表者による全体評価と見直しの結果

【全体の取組状況及び評価結果】　　令和５年７月 10 日

No.	項　目	評価結果
1	環境関連法規制等一覧表及び遵守状況のチェック結果	異常なし 変更もなし
2	環境経営目標の達成度	**『電気使用量の削減』** 今年の夏も猛暑でしたが設定温度を守ってエアコンを稼働していました。夏場はさすがに目標をクリア出来ませんでしたが、従業員個々の節電意識が高かったので年間では目標を達成できた。 **『ガソリン使用量の削減』** 今期もコロナ禍であった為、積極的な営業活動ができなかった。（問い合わせ、紹介等での訪問はあり。）今期目標を変更（数値を下げた）しましたが達成できました。 **『軽油 1L あたりの売上増大』** 今期は軽油使用量が減少（3.7%）しましたが売上もそれ以上に減少（6.3%）してしまったので目標達成できませんでした。顧客の景気が悪く少量での運搬が目立った為と思われます。アイドリングストップ等のエコドライブ意識は高く持っています。 **『灯油使用量の削減』** 今期もエアコン（暖房）との併用でファンヒータを使用した為使用量は削減できた。 **『水使用量の削減』** コロナ感染予防の為、手洗い・うがいの徹底、シャワーの使用率も増えました。しかし車両の洗車時に高圧洗浄機を使用等、節水の意識を高く持った為、目標を達成できました。 **『自社廃棄物の削減』** 今年度も事務所は紙の再利用の徹底ができたと思います。現場は従業員数が増えましたが、昼食時における外からの持参が減った為、目標達成できました。 **『グリーン購入促進』** エコマークの用品を率先して購入するよう心掛けている。 **『地域活動への参加・会社周辺清掃』** 地域活動も少しずつ実施され出来る限り参加した。会社周辺清掃は今年度も定期的に行った為、目標を大幅に達成できた。

2	環境経営目標の達成度	**『新規顧客の拡大』** 現顧客の訪問は定期的に行っていましたが、景気が悪いためか紹介された件数が少なく思う様に新規顧客の獲得が出来なかった。問い合わせも減少した。 **『回収漏れ件数の削減』** 全ての月で目標達成できた。従業員全員が確実に確認しながら回収できた成果が出たものと思われます。
3	環境経営計画の実施状況	各従業員が環境に関する意識が高まり、実施については良好と判断致します。
4	問題点の是正・予防処置の状況	2 件あげましたが、達成できなかった項目の原因は全て対策致しました。
5	外部からの苦情の有無	2 件ありましたがすぐに対応・改善を行いました。再発の無いように全従業員に徹底。
6	緊急事態の訓練結果	本社現場：9 月 23 日実施　　瑞穂：9 月 19 日実施。 本社事務所：9 月 23 日実施　　全て特に問題なし。
7	経営状況の変更	無し

【変更の必要性の有無】

№.	項　目	変更の必要性
1	環境経営方針	無し（2020 年 9 月 10 日改訂）
2	環境経営目標	無し（2021 年度を基準として 2022 年～2024 年度の目標を設定）
3	環境経営計画	無し
4	環境経営システム	無し
5	実施体制	無し

【代表者による全体の評価】

新型コロナウイルスが発生して 3 年以上経過しましたが当社でも今期は売上が減少してしまいました。民間企業の景気悪化に伴い廃棄物の量が減少してしまった事が原因です。その中でも空いた時間を利用して従業員の教育（講習・研修）に今期は力を入れてきました。

弊社はエコアクション 21 を取得して 10 年になり従業員の環境目標についての意識が高く持っているように感じます。地域活動の参加、会社周辺清掃を頻繁に実施するようになり、市民・顧客からの信頼も厚くなったものと確信しています。

2023 年度も厳しい状況下での業務が予想されますが、エッセンシャルワーカー(※人々が日常生活をおくる上で欠かせない仕事を担っている人)としての使命を強く認識し、全社員一丸となって目標達成に向かう組織づくりを目指していきます。